

特許紹介

1

発明の名称

濾過エレメントの製造装置

発明の目的

フューエルフィルタやオイルフィルタ等の濾過エレメントを連続的に効率良く製造することができる濾過エレメント製造装置を提供する。

発明の構成

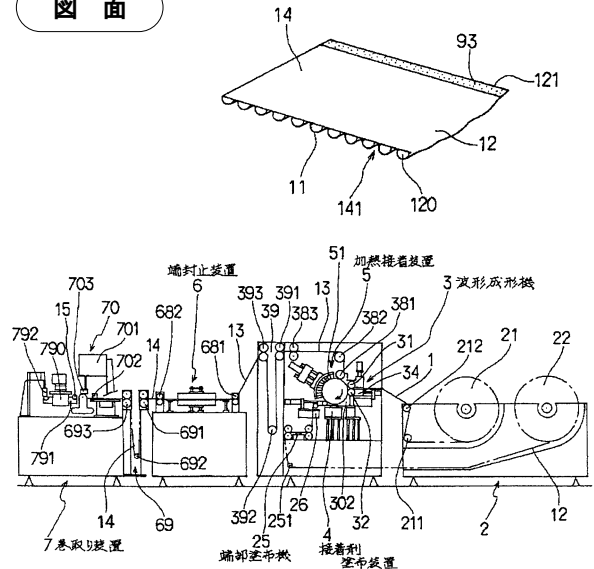
以下の各装置から構成される波型濾材11と一端部121において接着剤93が塗布された平型濾材12からなる濾過エレメントの製造装置で、テープ状濾材1から波型濾材11を作る成形ローラ31、32を備えた波型成形機3と、波型濾材11の頂部に接着剤を塗布する接着剤塗布装置4と、波型濾材11と組合わされる平形濾材12の一端部121に接着剤93を塗布する端部塗布機25と、波型濾材11と平形濾材12を加熱ローラで接着し中間材13を得る加熱接着装置5と、中間材13の端部121を加圧プレートにより圧着封止し、濾過エレメント14を作る端部封止装置6と、この濾過エレメント14を渦巻き状に巻き取り、巻回濾過エレメント15を製造する巻取り装置7。

【特許番号】特許第2643731号

【公開日】1994年2月22日

【発明者】山口 吉光 橋本 憲明
石原 篤 永井 康男
高垣 孝成

図面



2

発明の名称

車両の充電制御装置

発明の目的

スイッチ手段の導通率を所定値上昇させた後、徐々に上昇させることで、大型化することなく、エンジンの振動又は失速を防止できる。

発明の構成

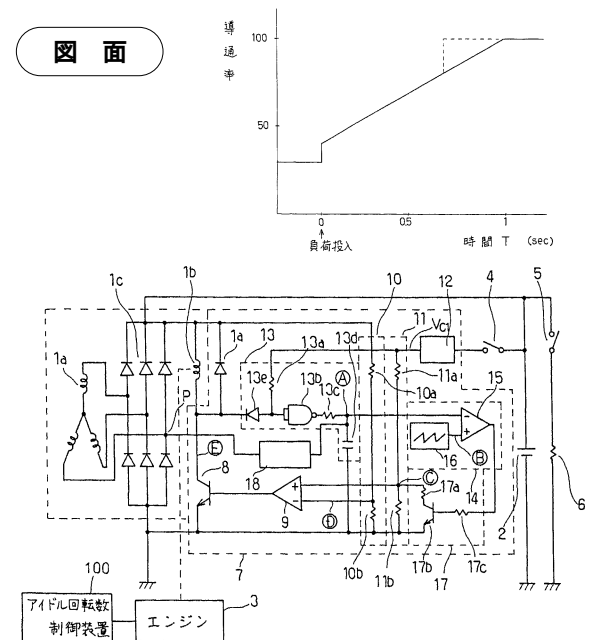
発電機1の出力電圧と所定電圧とを比較手段(比較器9)により、比較してスイッチ手段(出力トランジスタ8)を制御する車両の充電制御装置において、界磁巻線1bに流す電流を制御するスイッチ手段8の検出した導通率(導通率検出回路13)よりも大きい最大信号(最大信号発生装置14)を出力し、この最大信号に応じて、比較手段9の作動を許可し、スイッチ手段8の制御を行うようにした。

【特許番号】特許第3035919号

【公開日】1990年2月2日

【発明者】加藤 豪俊 青山 徹
柴田 浩司

図面



3

発明の名称

バルブタイミング調整装置

発明の目的

バルブタイミングを安定的に保持できるバルブタイミング調整装置を提供すること。

発明の構成

バルブタイミング調整装置において、進角側油圧室14に油を供給し、遅角側油圧室12から油を排出することによりカム軸側部材1をクランク軸側部材5に対して進角側に相対回転させるとき、進角側油圧室14に油が供給されるまで遅角側油圧室12からの油の排出を抑制するよう構成されている。

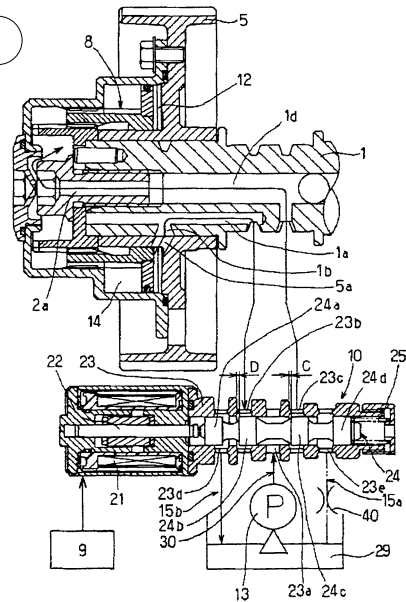
【特許番号】特許第3014893号

【公開日】1994年11月29日

【発明者】牛田 正泰 竹中 昭彦
安達美智雄

(トヨタ自動車(株)殿との共有特許)

図面



4

発明の名称

積層型熱交換器

発明の目的

凝縮水によるフィン通風部における閉塞を解決する。

発明の構成

一対の椀状プレート101を複数接合してなるチューブ部201とチューブ間を流れる冷却流体とチューブ内を流れる被冷却流体の熱交換を促進する波状フィン203とを備えており、チューブの空気流れ方向における上流端及び下流端のうち少なくとも一方は、一対の椀状プレートが接合される接合部101aと、この接合部101aから離間してフィン側に向かって伸びるつば部101bとからなる。接合部101aは向かい合う波状フィン203より第1所定距離(b)だけ離れ、つば部101bとなす第2所定距離(a)は第1所定距離(b)より小さい値に設定されている。

【特許番号】特許第2140688号

【公開日】1989年2月14日

【発明者】大原 敏夫 山内 芳幸

図面

